



青南だより

令和3年7月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<新しい形の青南まつり>

今年の青南まつりは、新しい工夫を凝らし、親子で創り上げるまつりとなりました。年長組は、ごっこ遊びの延長線上に今の子ども身の丈に合った店づくりからまつりにつながるよう方向付けることができました。そのきっかけになったのが、PTAのまつり委員さんが準備をしてくれ、各家庭で作ってきた提灯でした。また、まつりでもらったおみやげを使った作品を特設サイトで見られる工夫もしてくれて、集まれなくても一緒に楽しむことができ、本当にうれしく思っています。

<自分たちで野菜を育てる大きな意味>

このところ、アズキや夏野菜などを収穫し、味わうことができます。園庭に出るとまず野菜の様子を見に行き、水やりや土寄せなどの手入れをしています。このように、生長を楽しみに見守っているからこそ、それを食べることに特別な意味が生まれてくるのです。土づくりから自分たちで世話を育てた野菜を味わうことで、目の前の出来事が、自分たちの思いや行動とつながっていることを体で感じることができます。このような直接体験が、幼児期には是非とも必要なのです。

<多様な体験ができた科学館遠足>

先日、年長親子が初めてみなと科学館に遠足に出掛けました。約2時間半、貸し切りでプラネタリウム、気象科学館、常設展示コーナーをゆっくりと親子で楽しむことができました。親子二人だけで過ごすこと自体が久しぶりという方もいました。星空の映像や七夕の話も年長児にとっては分かりやすく、地震や津波など気象に関わるコーナー、常設展示コーナーでは家庭や園でも試せるような実験もあって、様々なジャンルの体験ができ、とても充実した時間を過ごすことができました。



年長組が7つのお店を出した青南まつり



各家庭で作った提灯を飾って雰囲気満点



キュウリやピーマン、枝豆などが生長中



親子で津波や大雨、地震などを体験



プラネタリウムできれいな星空を体感

・・・文月（ふみづき）・・・

しょうしよ
小暑（7日）…七夕飾りに願いを託します…

たいしよ
大暑（22日）…梅雨が明けると夏本番です…

みなと科学館のプラネタリウムでは、夏の星座や七夕の話を大きなスクリーンで見ることができました。もうすぐ、七夕です。今年も幼稚園の竹と小学校からいただく竹に笹飾りを飾ります。

今年のアズキは約2kg収穫できました。先生たちが交代で2時間もかけて煮込んで、南青山産のアズキジャムができ、まつりの翌日に、みんなでクラッカーにのせておいしくいただきました。

青南の 二十四節気